

令和5年

火災・救急・救助統計

松山市消防局



# 目 次

火災の状況	1
1 火災件数	
(1) 火災件数の推移	2
(2) 火災種別の構成割合	2
(3) 建物用途別件数	3
(4) 月別件数	4
(5) 四季別件数	4
(6) 時間帯別件数	4
(7) 地区別件数	5
(8) 地区別件数の推移	6
2 出火原因	7
3 死傷者	
(1) 死傷者数の推移	8
(2) 死者の状況	8
(3) 負傷者の状況	8
4 損害額	
(1) 損害額の推移	9
(2) 損害額の内訳	9
5 覚知方法別火災件数	10
6 初期消火の状況	10
7 署所別の火災状況	11

---

## 救急の状況

1	救急出動件数・搬送人員の状況	13
2	月別救急の状況	14
3	医療機関別搬送状況	14
4	署所別出動件数の状況	15
5	年齢別・性別搬送人員の状況	15
6	事故種別・傷病程度別搬送人員の状況	16
7	時間帯別出動件数の状況	16
8	現場到着所要時間の状況	17
9	収容所要時間の状況	17
10	応急処置実施状況	18
11	応急手当普及啓発活動の状況	19
12	地区別救急発生状況	20

## 救助の状況

1	救助出動等の状況	21
2	救助出動等の推移	22
3	事故種別・署別出動の状況	23
	事故種別出動件数と構成割合	24
	事故種別救助人員と構成割合	24
4	月別救助出動等の状況	25
5	事故種別・傷病程度別救助人員	25
6	発生場所別の出動状況	26
7	地区別救助出動状況	27

※統計中の構成比・実施比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

火 災



# 火災の状況

令和5年中の火災件数は116件で、前年と比較し12件減少しています。  
 火災による死者は6人(前年8人)、負傷者は13人(前年29人)となっています。  
 また、火災による損害額は7,852万6千円で、前年と比較すると1億493万4千円減少しています。

(各年中) (▲減少)

区分	単位	令和5年		令和4年		増減 (A-B) C
		A	爆発	B	爆発	
火災件数	合計	116		128		▲ 12
	建物火災 (住宅火災)	70 (42)		92 (54)		▲ 22 ▲ 12
	林野火災	4		2		2
	車両自動車 火災	9		4		5
	船舶火災					
	航空機火災					
	その他の火災*1	33		30		3
焼損棟数	合計	91		132		▲ 41
	全焼	6		22		▲ 16
	半焼	5		3		2
	部分焼	12		31		▲ 19
	ぼや	68		76		▲ 8
	爆発損害棟数					
焼損面積	建物焼損床面積	1,042		2,789		▲ 1,747
	〃 表面積	183		602		▲ 419
	林野焼損面積	14		9		5
死傷者	死者 (住宅火災死者)	6 (6)		8 (8)		▲ 2 ▲ 2
	負傷者	13		29		▲ 16
り災世帯	合計	65		106		▲ 41
	全損	7		23		▲ 16
	半損	3		8		▲ 5
	小損	55		75		▲ 20
り災人員	人	134		227		▲ 93
損害額	合計	78,526		183,460		▲ 104,934
	建物	73,618		181,689		▲ 108,071
	林野					
	車両自動車 鉄道	4,240		1,321		2,919
	船舶					
	航空機					
	その他	668		450		218
	爆発					
出火率*2	件	2.30		2.52		▲ 0.22

(注) \*1 その他の火災とは、田畑や河川敷の枯草、屋外に放置された物件等が燃えた火災をいいます。

\*2 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいいます。  
 (人口は、令和5年1月1日現在の住民基本台帳による)

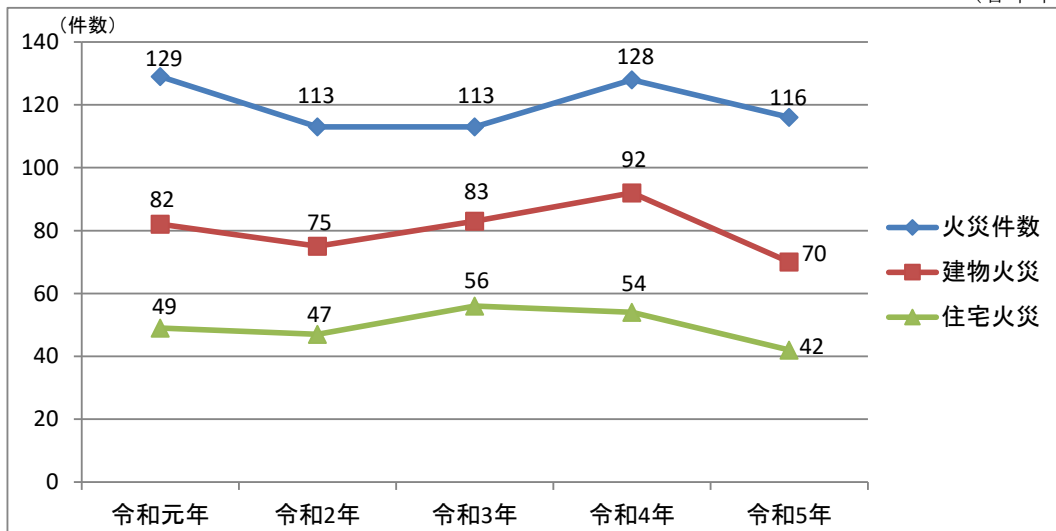
# 1 火災件数

## (1) 火災件数の推移

火災件数は前年より12件減少した116件となっています。

また、建物火災件数は前年より22件減少した70件となっており、過去5年間平均値は80.4件です。

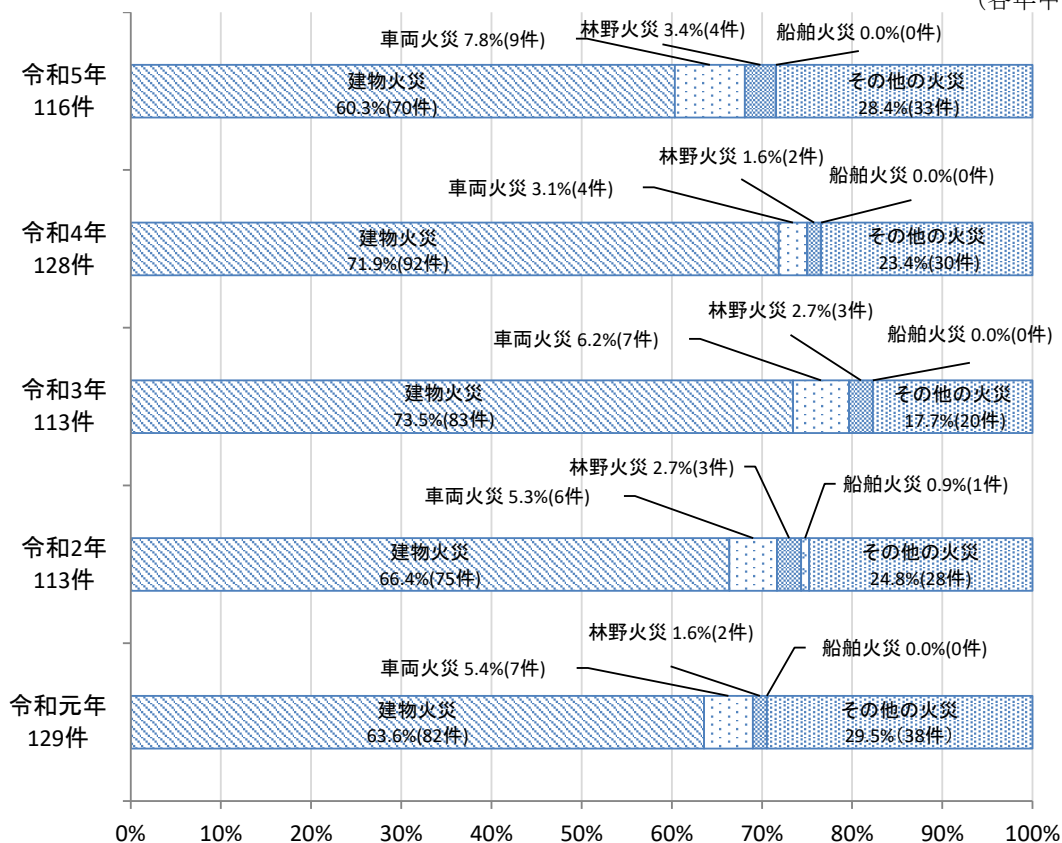
(各年中)



## (2) 火災種別の構成割合

火災種別ごとの割合をみると、建物火災が全火災の60.3% (70件) を占めており、次いで、その他の火災28.4% (33件)、車両火災7.8% (9件)、林野火災3.4% (4件)、船舶火災0.0% (0件) となっています。

(各年中)





(3) 建物用途別件数

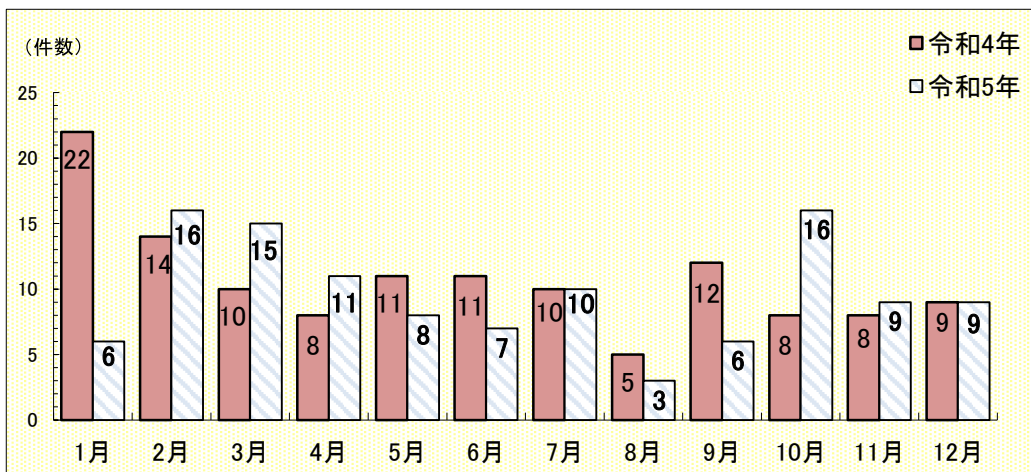
建物火災を用途別にみると、住宅（共同住宅を含む）の火災が42件と最も多く、建物火災全体の60%を占めています。

(各年中)

用途	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
専用住宅	21	31	36	32	27
共同住宅	21	21	17	13	22
併用住宅		2	3	2	
小計	42	54	56	47	49
劇場等					
公会堂等					1
キャバレー等					
遊技場等					
性風俗施設					
カラオケボックス等					
料理店等					
飲食店	3	3	3	4	6
物品販売店舗等		1		5	4
旅館・ホテル等	1	1			
病院等					
グループホーム等					
社会福祉施設等					
幼稚園等					
学校	1		1	1	1
図書館等					
特殊浴場					
公衆浴場		1			
停車場等					
神社・寺院等					
工場・作業場	5	7	1	6	4
スタジオ					
駐車場等		1	1		
航空機格納庫					
倉庫		1	1	3	5
事務所等	2	2	1		4
特定複合用途	8	9	5	3	2
非特定複合用途	5	5	3	2	2
地下街					
準地下街					
文化財					
その他	3	7	11	4	4
小計	28	38	27	28	33
合計	70	92	83	75	82

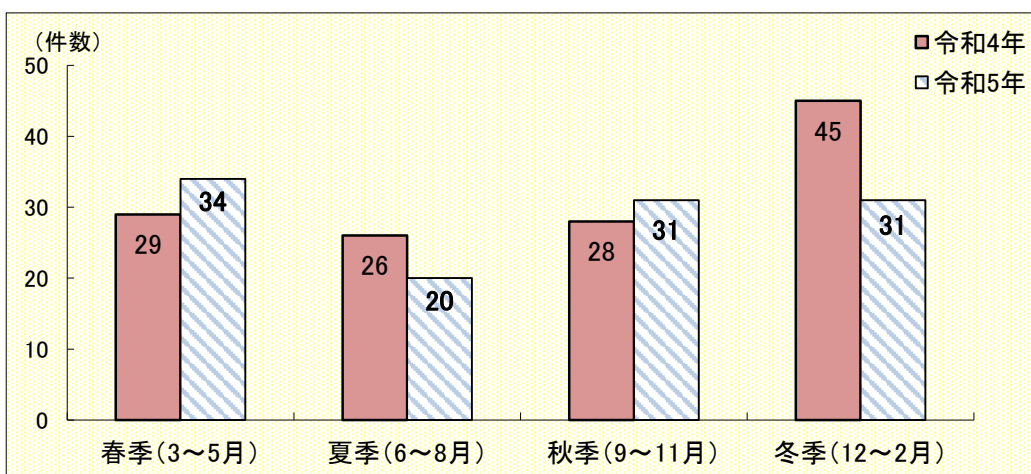
#### (4) 月別件数

火災件数を月別にみると、2月と10月が16件で最も多く、次いで3月が15件、4月が11件となっています。(各年中)



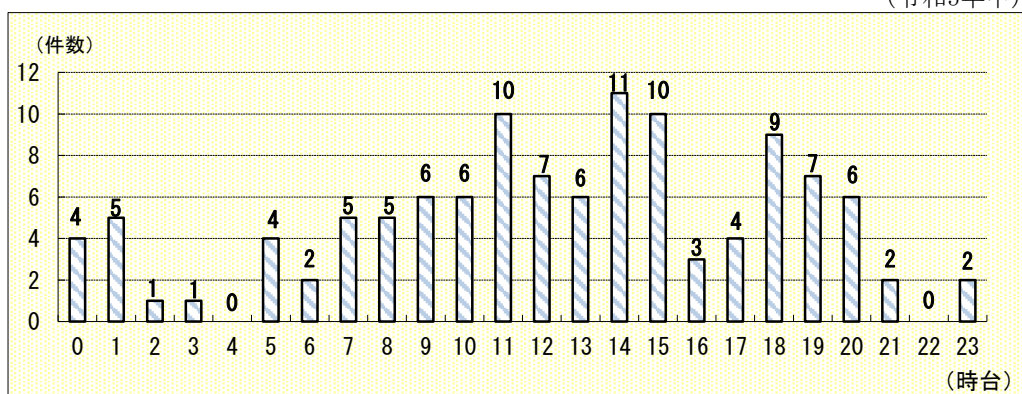
#### (5) 四季別件数

火災件数を四季別にみると、春季が34件(29.3%)で最も多くとなっています。(各年中)



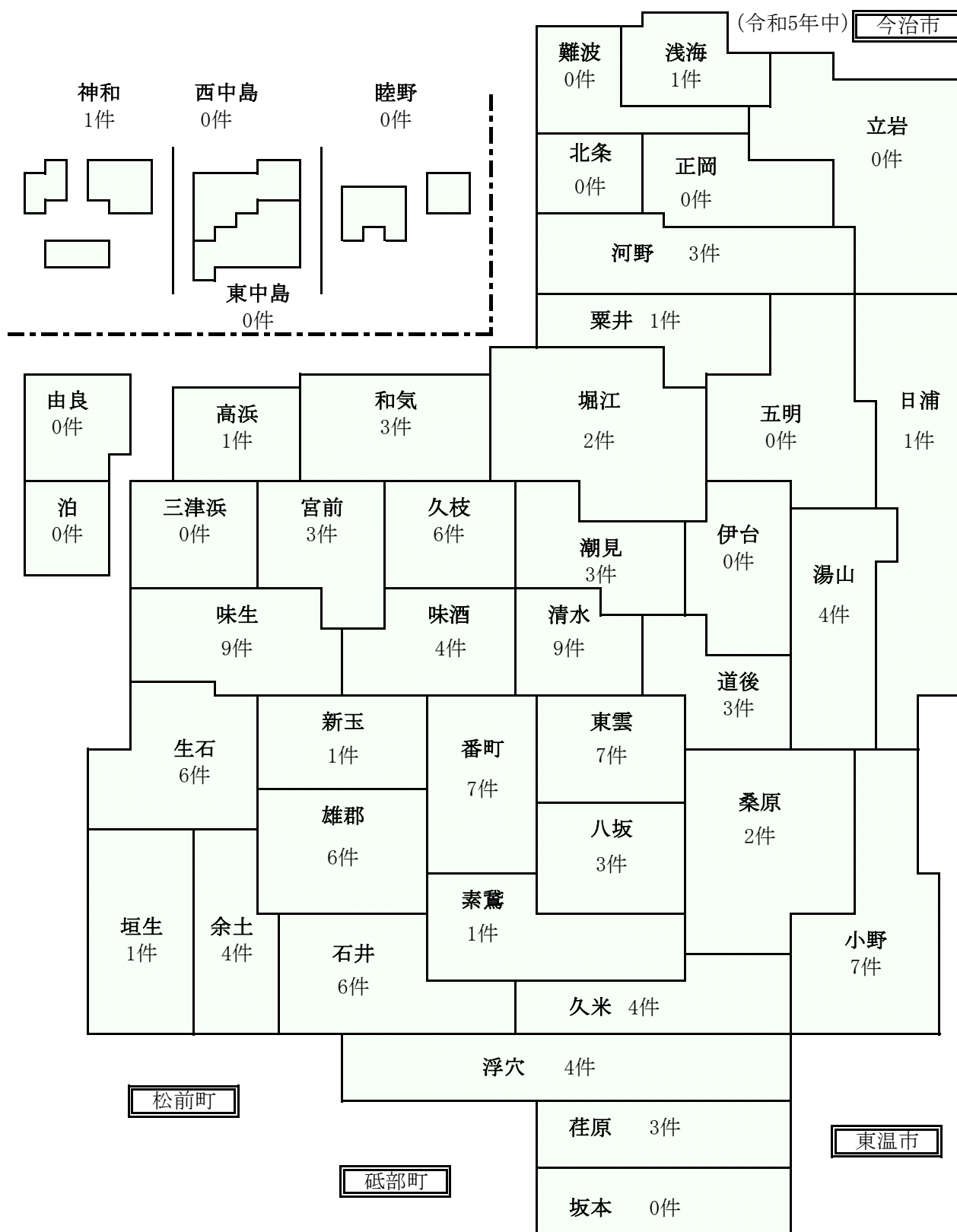
#### (6) 時間帯別件数

火災件数を時間帯別にみると、14時台が11件で最も多く、次いで11時台、15時台が10件、18時台が9件となっています。(令和5年中)



(7) 地区別件数

火災件数を地区別にみると、味生（前年4件）、清水（前年10件）が9件と最も多く、次いで番町（前年6件）、東雲（前年5件）、小野（前年5件）が7件となっています。



※松山市基準地区（44地区）

## (8) 地区別件数の推移

(各年中)

	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
番町	7	6	5	3	3
東雲	7	5	3	4	5
八坂	3	0	3	2	1
素鷲	1	3	4	9	5
雄郡	6	7	6	7	6
新玉	1	2	2	1	5
味酒	4	2	4	3	3
清水	9	10	2	5	7
桑原	2	4	2	4	6
道後	3	8	4	5	7
味生	9	4	3	5	8
生石	6	6	4	3	7
垣生	1	4	2	3	0
宮前	3	3	1	3	3
三津浜	0	0	2	2	1
高浜	1	1	3	1	4
久枝	6	3	4	1	6
潮見	3	3	6	3	3
和気	3	3	5	1	4
堀江	2	3	3	0	6
余土	4	3	5	6	2
由良	0	0	1	0	0
泊	0	0	2	0	0
久米	4	4	5	3	4
湯山	4	0	0	3	1
日浦	1	1	1	0	0
伊台	0	1	2	0	0
五明	0	1	0	4	0
小野	7	5	8	2	3
浮穴	4	1	1	6	4
石井	6	12	8	9	8
荏原	3	4	2	4	4
坂本	0	1	1	2	2
浅海	1	2	2	3	0
立岩	0	3	0	1	2
難波	0	1	1	1	2
正岡	0	2	1	0	2
北条	0	1	0	0	1
河野	3	4	1	2	0
粟井	1	3	3	2	2
睦野	0	0	0	0	0
東中島	0	0	1	0	1
西中島	0	1	0	0	0
神和	1	1	0	0	1
合計	116	128	113	113	129

※松山市基準地区 (44地区)

## 2 出火原因

全火災116件を出火原因別にみると、「たき火」が19件で最も多く、次いで「こんろ」が17件、「たばこ」が10件となっています。

(各年中) (▲減少)

出火原因	令和5年	令和4年	増減
たき火	19	16	3
こんろ	17	14	3
たばこ	10	19	▲9
放火	8	8	0
電気機器	7	7	0
電灯等の配線	4	7	▲3
火入れ	4	2	2
配線器具	3	3	0
電気装置	2	4	▲2
マッチ・ライター	2	3	▲1
灯火	2	2	0
排気管	2	1	1
焼却炉	2	0	2
火あそび	2	0	2
ストーブ	1	4	▲3
ボイラー	1	1	0
炉	1	0	1
内燃機関	1	0	1
取灰	1	0	1
風呂かまど	0	2	▲2
衝突の火花	0	1	▲1
煙突・煙道	0	1	▲1
溶接機・切断機	0	1	▲1
放火の疑い	0	1	▲1
その他*	18	16	2
不明・調査中	9	15	▲6
合計	116	128	▲12

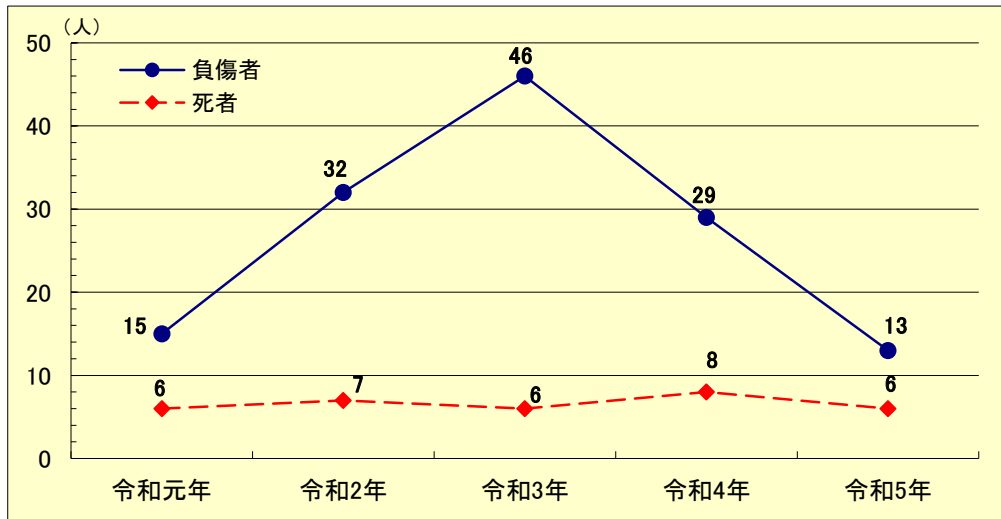
\*出火原因の「その他」とはフライヤー、電気トースター、線香などがあります。

### 3 死傷者

#### (1) 死傷者数の推移

火災による死者数は6人で、前年（8人）と比較すると2人減少しています。また、負傷者数は13人で、前年（29人）と比較すると16人減少しています。

(各年中)



#### (2) 死者の状況

死者を火災種別及び年齢層別で見ると、次表のとおりとなっています。

(各年中)

(各年中)

火災種別	令和5年	令和4年
建物火災	6人	8人
林野火災	0人	0人
車両火災	0人	0人
船舶火災	0人	0人
航空機火災	0人	0人
その他の火災	0人	0人
合計	6人	8人

年齢層別	令和5年	令和4年
5歳以下	0人	0人
6歳～64歳以下	1人	3人
65歳以上	5人	5人
合計	6人	8人

#### (3) 負傷者の状況

火災種別及び受傷時の状況で見ると、次表のとおりとなっています。

(各年中)

(各年中)

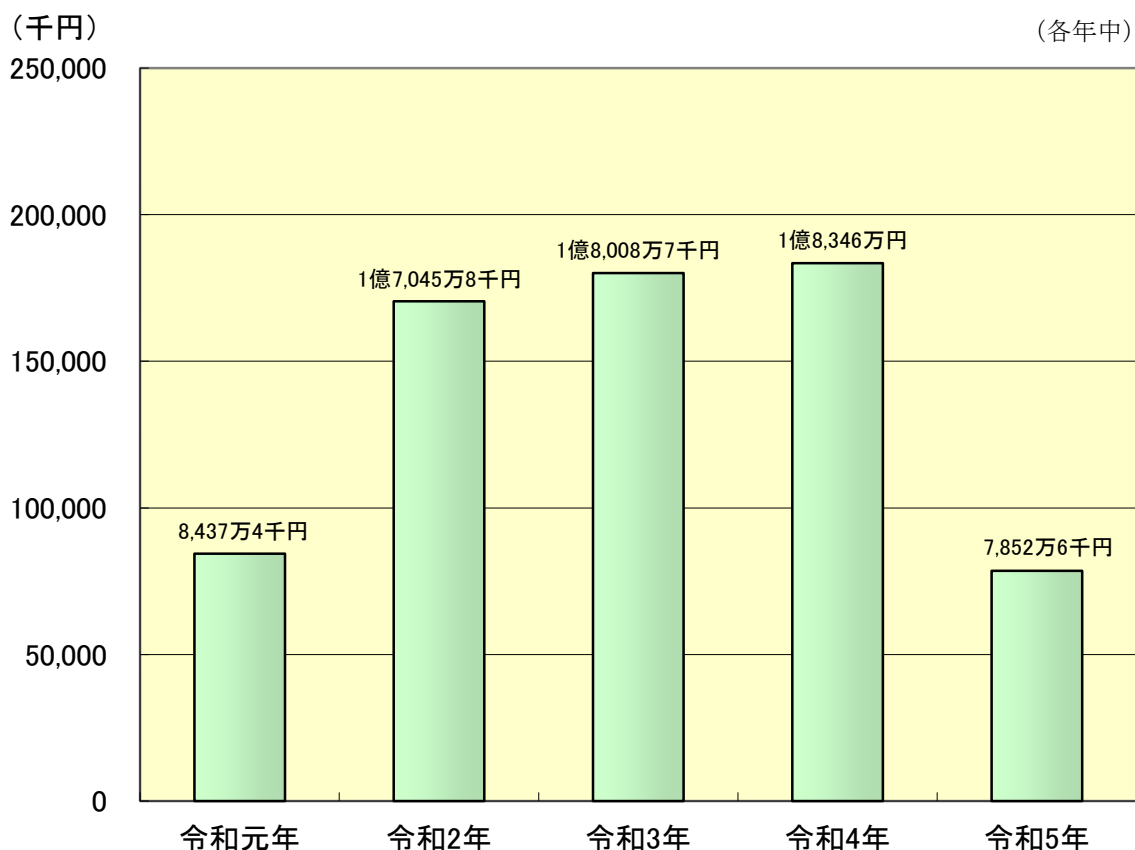
火災種別	令和5年	令和4年
建物火災	12人	26人
林野火災	0人	1人
車両火災	0人	1人
船舶火災	0人	0人
航空機火災	0人	0人
その他の火災	1人	1人
合計	13人	29人

受傷時の状況	令和5年	令和4年
消火中	5人	15人
避難中	4人	5人
就寝中	0人	1人
作業中	4人	3人
その他	0人	5人
合計	13人	29人

## 4 損害額

### (1) 損害額の推移

火災による損害額は、7,852万6千円で、前年（1億8,346万円）と比較すると1億493万4千円減少しています。



### (2) 損害額の内訳

損害額を損害種別ごとに過去5年間でみると、次表のとおりとなっています。

【単位：千円】

(各年中)

損害種別	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平均
建物	73,618	181,689	174,455	166,455	80,647	135,373
林野	0	0	0	0	0	0
車両	4,240	1,321	4,914	2,551	2,987	3,203
船舶	0	0	0	228	0	46
航空機	0	0	0	0	0	0
その他	668	450	691	1,224	740	755
爆発	0	0	27	0	0	5
合計	78,526	183,460	180,087	170,458	84,374	139,381

## 5 覚知方法別火災件数

覚知した方法別にみると、携帯電話からの119番通報が64件で最も多く、次いで、事後聞知(火災鎮火後に覚知したもの)が30件となっています。

(令和5年中)

覚知方法別	区分	件数	構成比 (%)
119 (携帯電話から)		64	55.2%
事後聞知		30	25.9%
自己覚知		7	6.0%
119 (IP電話から)		6	5.2%
119 (固定電話から)		5	4.3%
警察電話		2	1.7%
加入 (固定電話から)		1	0.9%
加入 (携帯電話から)		0	0.0%
その他		1	0.9%
合計		116	

## 6 初期消火の状況

初期消火の状況をみると、初期消火が実施されたのは75件で、そのうち53件(70.7%)が初期消火に成功し火災鎮圧に効果がありました。

初期消火使用器具等をみると、水道・浴槽等の水が42件で最も多く、次いで粉末消火器が20件となっています。

(令和5年中)

火災件数	116
初期消火実施	75 (64.7%)
初期消火なし	41 (35.3%)

初期消火使用器具等	実施件数	成功件数	実施比率	成功率
水道・浴槽等の水	42	28	56.0%	66.7%
粉末消火器	20	15	26.7%	75.0%
寝具、衣類等	4	4	5.3%	100.0%
その他	9	6	12.0%	66.7%
合計	75	53		70.7%



## 7 署所別の火災状況

(令和5年中)

署 別	区 分	件 数	死 者	負 傷 者	建物焼損	建物焼損	林野焼損	損 害 額
		(件)	(人)	(人)	床面積(m <sup>2</sup> )	表面積(m <sup>2</sup> )	面積(a)	(千 円)
中央署		41	0	2	114	30	1	13,166
	本 署	22	0	1	112	27	0	9,957
	城 北	14	0	1	0	0	1	3,044
	北 条	5	0	0	2	3	0	165
東 署		25	2	5	71	4	5	3,687
	本 署	14	2	3	71	3	5	3,464
	城 東	11	0	2	0	1	0	223
南 署		25	2	3	790	114	8	49,543
	本 署	18	1	2	322	82	0	13,419
	東 部	7	1	1	468	32	8	36,124
西 署		25	2	3	67	35	0	12,130
	本 署	18	2	3	67	35	0	11,984
	西 部	7	0	0	0	0	0	146
合 計		116	6	13	1,042	183	14	78,526

- 住宅用火災警報器は、火災を早期に発見することで、「初期消火」、「避難」、「119番通報」をいち早く行うことができ、被害の軽減に役立ちます。
- 住宅用火災警報器を設置されているご家庭では機器の点検をしてください。電池切れや故障の場合は、機器の交換をしてください。
- 住宅用火災警報器の設置場所などの詳しい情報は、松山市ホームページの「住宅用火災警報器」をご参照ください。
- 日頃から、火気の取り扱いには十分注意し、火災予防を心がけましょう。

救 急



# 救急の状況

令和5年中の救急出動件数は29,987件、搬送人員は27,252人で、前年と比較し出動件数、搬送人員ともに増加しています。

これは、1日平均82.2件、17分32秒に1回の割合で救急車が出動し、市民18人に1人の割合で搬送されたこととなります。

## 1 救急出動件数・搬送人員の状況

事故種別では、急病・一般負傷・転院搬送・交通事故の順となっており、この4種別だけで出動件数全体の96.0%、搬送人員は全体の97.6%を占めています。

(▲は減少)

区分	単位	令和5年 A	構成比 (%)	令和4年 B	構成比 (%)	増減 (A-B) C	増減率 (C/B×100) (%)
出動件数	件	29,987	100.0	28,390	100	1,597	5.6
内訳	火災	89	0.3	99	0.3	▲ 10	▲ 10.1
	自然	4	0.0	0	0.0	4	-
	水難	10	0.0	17	0.1	▲ 7	▲ 41.2
	交通	2,170	7.2	2,058	7.2	112	5.4
	労災	197	0.7	161	0.6	36	22.4
	運動	183	0.6	151	0.5	32	21.2
	一般	4,295	14.3	3,962	14.0	333	8.4
	加害	101	0.3	90	0.3	11	12.2
	自損	274	0.9	266	0.9	8	3.0
	急病	18,838	62.8	17,882	63.0	956	5.3
	転院	3,518	11.7	3,412	12.0	106	3.1
	その他	308	1.0	292	1.0	16	5.5
搬送件数	件	27,124	-	25,868	-	1,256	4.9
搬送人員	人	27,252	100.0	26,026	100.0	1,226	4.7
内訳	火災	12	0.0	21	0.1	▲ 9	▲ 42.9
	自然	0	0.0	0	0.0	0	-
	水難	3	0.0	5	0.0	▲ 2	▲ 40.0
	交通	1,953	7.2	1,922	7.4	31	1.6
	労災	191	0.7	158	0.6	33	20.9
	運動	184	0.7	150	0.6	34	22.7
	一般	4,014	14.7	3,741	14.4	273	7.3
	加害	83	0.3	84	0.3	▲ 1	▲ 1.2
	自損	193	0.7	193	0.7	0	0.0
	急病	17,117	62.8	16,368	62.9	749	4.6
	転院	3,502	12.9	3,383	13.0	119	3.5
	その他	0	0.0	1	0.0	▲ 1	▲ 100.0
出動平均(1日)	件	82.2		77.8			
出動間隔		17分32秒		18分31秒			

※1 出動平均については、前年比1日あたり約4件増加しています。

※2 出動間隔については、前年比59秒短くなっています。

## 2 月別救急の状況

出動件数、搬送人員ともに7月が一番多くなっています。

月別	出動件数	出動件数内訳												搬送人員
		火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	
1	2,739	5	0	4	158	9	9	361	8	17	1,818	326	24	2,464
2	2,156	8	0	0	147	9	19	266	12	20	1,376	280	19	1,962
3	2,292	6	0	1	182	10	18	357	10	14	1,356	314	24	2,106
4	2,208	10	0	1	196	15	16	321	5	18	1,362	247	17	2,030
5	2,386	7	0	0	201	15	11	349	10	25	1,450	293	25	2,206
6	2,291	4	0	1	186	15	17	326	15	34	1,379	294	20	2,106
7	2,948	12	4	0	171	37	20	368	8	23	1,996	290	19	2,691
8	2,901	3	0	1	169	21	20	343	9	26	1,997	277	35	2,611
9	2,446	6	0	1	173	21	16	341	6	27	1,547	281	27	2,193
10	2,544	12	0	0	195	17	13	421	6	23	1,500	325	32	2,296
11	2,399	8	0	0	197	13	11	408	7	22	1,402	298	33	2,193
12	2,677	8	0	1	195	15	13	434	5	25	1,655	293	33	2,394
計	29,987	89	4	10	2,170	197	183	4,295	101	274	18,838	3,518	308	27,252

## 3 医療機関別搬送状況

医療機関への搬送状況は、救急医療機関24,986人(91.7%)、その他の医療機関2,266人(8.3%)、その他の場所0人となっています。

事故種別等 告示の別等	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
救急医療機関	15,777	1,862	3,854	3,493	24,986
その他の医療機関	1,340	91	160	675	2,266
その他の場所	0	0	0	0	0
合計	17,117	1,953	4,014	4,168	27,252

※ 救急医療機関とは、厚生省令により救急告示を受けている医療機関のことです。

#### 4 署所別出動件数の状況

松山市の救急車は、16台です。

うち1台は、日勤時間帯に機動救急隊として運用しています。

署所 種別	中央署				東 署				南 署			西 署			救急課		消防局	合計
	本署	城北	北条1	*1 北条2	本署	城東1	*2 城東2	湯山	本署	東部	久谷	本署	西部	*3 本署2	*4 WS	*5 機動	非常用	
火災	10	6	3	0	4	12	4	5	11	7	4	5	9	2	7	0	0	89
自然	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
水難	0	0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	1	1	3	0	0	0	10
交通	253	160	67	20	163	299	64	68	167	135	43	143	223	6	247	104	8	2,170
労災	16	19	15	4	11	17	8	8	13	11	12	23	18	3	9	9	1	197
運動	18	10	12	4	9	10	3	6	24	4	19	6	32	1	18	3	4	183
一般	461	263	207	36	374	542	131	164	357	291	120	360	426	57	376	111	19	4,295
加害	16	3	1	1	10	31	1	1	6	7	0	8	8	0	6	0	2	101
自損	33	15	14	1	26	39	3	6	26	18	9	19	25	1	33	6	0	274
急病	2,013	1,292	737	166	1,585	2,492	475	630	1,620	1,222	551	1,621	1,777	186	1,764	613	94	18,838
転院	268	158	108	30	407	472	93	103	416	299	85	170	222	55	418	198	16	3,518
その他	33	16	5	0	18	39	10	11	7	13	4	9	7	0	131	3	2	308
合計	3,122	1,943	1,170	262	2,608	3,953	792	1,005	2,648	2,007	847	2,366	2,748	314	3,009	1,047	146	29,987

\*1 消防隊兼務

\*2 令和5年10月1日から増隊し、運用開始

\*3 島しょ部対応、消防救急艇兼務

\*4 救急ワークステーション

\*5 平日日勤時間帯に運用

#### 5 年齢別・性別搬送人員の状況

年齢別・性別で搬送人員をみると、高齢者が16,846人で全体の61.8%を占めています。

区 分	令和5年			令和4年		
	男	女	合計	男	女	合計
新生児	14	24	38	21	10	31
乳幼児	721	507	1,228	532	363	895
少年	526	364	890	446	288	734
成人	4,267	3,983	8,250	4,231	3,963	8,194
高齢者	7,910	8,936	16,846	7,782	8,390	16,172
合計	13,438	13,814	27,252	13,012	13,014	26,026

(年齢区分)

新生児 生後28日未満の者

乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者

少年 満7歳以上満18歳未満の者

成人 満18歳以上満65歳未満の者

高齢者 満65歳以上の者

## 6 事故種別・傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別では、死亡348人（1.3%）、重症1,041人（3.8%）、中等症9,771人（35.9%）、軽症16,092人（59.0%）となっており、軽症の占める割合が多くなっています。

種別 傷病程度	合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
死亡	348	2	0	2	8	2	0	29	0	25	273	7
重症	1,041	2	0	0	44	9	1	94	1	16	611	263
中等症	9,771	2	0	1	236	50	24	1,115	7	29	5,143	3,164
軽症	16,092	6	0	0	1,665	130	159	2,776	75	123	11,090	68
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27,252	12	0	3	1,953	191	184	4,014	83	193	17,117	3,502

### （傷病程度）

- 死亡 初診時において、死亡が確認されたもの
- 重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中等症 傷病の程度が入院を要するもので重症に至らないもの
- 軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの
- その他 搬送したが医師の診断がないもの及びその他の場所へ搬送したもの

## 7 時間帯別出動件数の状況

出動件数が多い時間帯は、10時から12時が3,806件（12.7%）、12時から14時が3,521件（11.7%）となっています。

時間	種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
0時～2時		1,063	53	152	151	1,419
2時～4時		854	34	132	107	1,127
4時～6時		884	36	125	96	1,141
6時～8時		1,233	162	295	113	1,803
8時～10時		2,165	338	520	493	3,516
10時～12時		2,072	254	554	926	3,806
12時～14時		1,985	246	481	809	3,521
14時～16時		1,747	230	424	601	3,002
16時～18時		1,756	324	499	599	3,178
18時～20時		2,030	282	471	363	3,146
20時～22時		1,690	139	378	244	2,451
22時～24時		1,359	72	264	182	1,877
合計		18,838	2,170	4,295	4,684	29,987



## 8 現場到着所要時間の状況

救急自動車による現場到着時間は、10分未満が20,115件（67.1%）となっており、現場到着時間の平均は9分28秒となっています。

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計	平均所要 時間
急病	106	672	11,483	6,184	393	18,838	9分42秒
交通事故	29	95	1,378	634	34	2,170	9分12秒
一般負傷	23	162	2,636	1,377	97	4,295	9分36秒
その他	213	444	2,874	1,008	145	4,684	8分42秒
合計	371	1,373	18,371	9,203	669	29,987	9分28秒
構成比（%）	1.2	4.6	61.3	30.7	2.2	100.0	—
令和4年（%）	1.3	4.0	58.3	32.9	3.5	100.0	9分54秒

※現場到着所要時間とは、入電から現場に到着するまでに要した時間

## 9 収容所要時間の状況

傷病者の病院収容時間は、30分未満が7,389件（27.1%）となっており、病院収容時間の平均は41分10秒となっています。

収容所要 事故種別	10分 未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	合計	平均収容 時間
急病	0	194	3,764	11,038	2,048	73	17,117	41分30秒
交通事故	0	21	359	1,356	208	9	1,953	42分12秒
一般負傷	0	44	703	2,729	526	12	4,014	42分54秒
その他	4	637	1,663	1,616	231	17	4,168	32分12秒
合計	4	896	6,489	16,739	3,013	111	27,252	41分10秒
構成比（%）	0.0	3.3	23.8	61.4	11.1	0.4	100.0	—
令和4年（%）	0.0	3.1	24.4	61.1	10.8	0.6	100.0	41分3秒

## 10 応急処置実施状況

救急救命士等が行った救命処置は、311件（前年389件）となっています。

応急処置	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
	応急処置対象人数	17,107	1,950	4,009	4,069	27,135
止血		57	64	293	46	460
被覆		87	539	999	149	1,774
固定		61	248	317	80	706
保温		317	24	57	78	476
酸素吸入		2,812	37	143	1,114	4,106
人工呼吸のみ実施		23	1	1	4	29
胸骨圧迫のみ実施		6	3	1	0	10
● うち自動心臓マッサージ器使用		0	1	0	0	1
心肺蘇生（胸骨圧迫・人工呼吸）		440	5	40	47	532
● うち自動心臓マッサージ器使用		73	1	7	4	85
気道確保		625	13	59	67	764
● うち経鼻エアウェイ		9	0	2	0	11
● うち喉頭鏡・鉗子等		4	0	8	0	12
●◎ うちラリングアルマスク等		84	1	2	3	90
●◎ 気管挿管		7	0	3	0	10
● 在宅療法継続		93	1	5	7	106
● ショックパンプ		0	0	0	0	0
●◎ 除細動		27	1	2	1	31
●◎ 静脈路確保		71	1	5	3	80
うち心肺停止前（ブドウ糖含む）		14	1	0	1	16
うち心肺停止後		57	0	5	2	64
●◎ 薬剤投与		21	0	1	0	22
アドレナリン投与		11	0	1	0	12
エピペン投与		0	0	0	0	0
ブドウ糖投与		10	0	0	0	10
●◎ 血糖測定		75	0	2	1	78
● 血圧測定		15,897	1,916	3,751	3,817	25,381
● 聴診器		1,666	57	174	169	2,066
● 血中酸素飽和度の測定		16,626	1,926	3,907	3,980	26,439
● 心電図		3,917	56	157	514	4,644
その他		16,473	1,865	3,864	3,762	25,964
合計		59,294	6,757	13,778	13,839	93,668
● 拡大された応急処置等		38,570	3,961	8,026	8,499	59,056
◎ 特定行為等		285	3	15	8	311

（注）

「●」とは、拡大された応急処置の項目

「◎」とは、救急救命士が行う特定行為の項目

## 1 1 応急手当普及啓発活動の状況

平成6年から令和5年までの30年間で、34万8,734人の市民が応急手当の講習を受講しました。

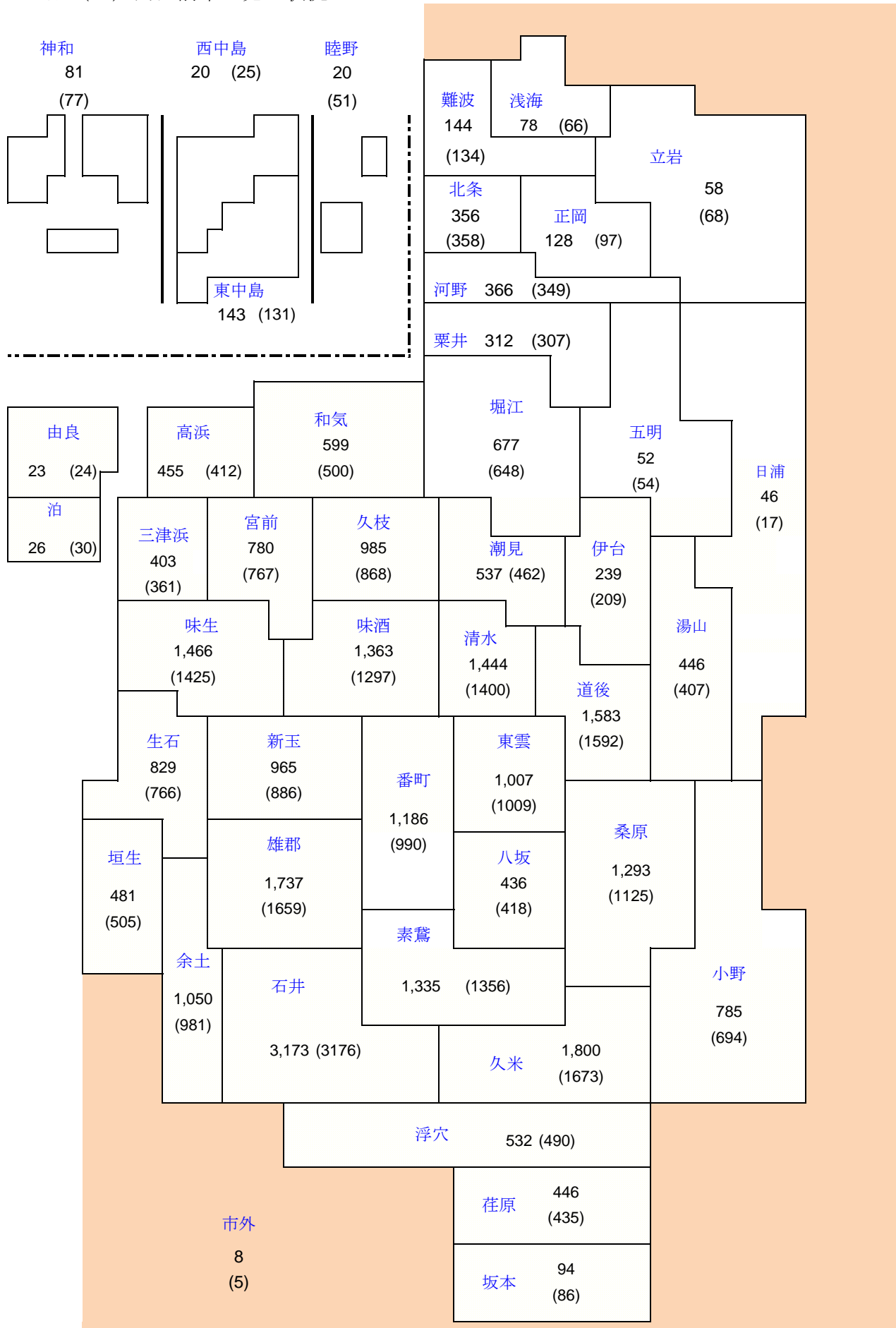
年	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習		合 計	
	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
平成6年	23	944			57	2,850	80	3,794
平成7年	33	1,216			65	3,100	98	4,316
平成8年	42	1,607	2	112	77	4,395	121	6,114
平成9年	48	1,760	4	152	79	4,456	131	6,368
平成10年	67	2,474	5	153	88	4,669	160	7,296
平成11年	118	3,933	6	195	113	7,185	237	11,313
平成12年	133	4,014	8	228	110	6,425	251	10,667
平成13年	139	4,344	13	318	65	3,311	217	7,973
平成14年	152	4,914	33	838	84	3,510	269	9,262
平成15年	195	5,537	38	965	87	4,586	320	11,088
平成16年	219	5,286	41	1,376	59	2,698	319	9,360
平成17年	253	5,943	26	858	126	5,158	405	11,959
平成18年	344	8,631	41	1,124	132	5,781	517	15,536
平成19年	390	9,502	47	1,154	175	7,716	612	18,372
平成20年	389	9,600	43	1,175	216	9,721	648	20,496
平成21年	345	8,342	21	538	251	11,249	617	20,129
平成22年	335	7,910	19	489	217	11,474	571	19,873
平成23年	324	7,211	11	317	236	13,028	571	20,556
平成24年	356	8,389	11	236	201	9,848	568	18,473
平成25年	325	7,550	11	302	146	6,698	482	14,550
平成26年	355	8,014	14	381	158	6,687	527	15,082
平成27年	324	8,146	11	390	147	7,507	482	16,043
平成28年	327	7,905	8	256	138	6,116	473	14,277
平成29年	307	7,640	11	316	118	5,330	436	13,286
平成30年	314	7,666	11	279	121	4,694	446	12,639
令和元年	312	7,024	17	305	169	8,060	498	15,389
令和2年	99	1,806	1	7	20	721	120	2,534
令和3年	143	2,121	5	107	15	346	163	2,574
令和4年	149	2,202	4	82	29	701	182	2,985
令和5年	282	5,068	7	164	57	1,198	346	6,430

合 計	6,842	166,699	469	12,817	3,556	169,218	10,867	348,734
-----	-------	---------	-----	--------	-------	---------	--------	---------

## 1 2 地区別救急発生状況

出動件数 29,987 件 (前年 28,390 件)

※ ( ) 内は前年の発生状況



救 助



## 救助の状況

令和5年中の救助出動件数は、284件（前年248件）、活動件数は、210件（前年192件）であり、前年と比較すると、出動件数は36件（14.5%）、活動件数は18件（9.4%）増加しています。

また、救助人員は176人（前年152人）で、前年と比較すると、24人（15.8%）増加しています。

### 1 救助出動等の状況

（▲は減少）

区 分		令和5年 A	令和4年 B	増減（A－B） C	増減率 C／B×100 （%）
出 動 件 数		284	248	36	14.5
活 動 件 数		210	192	18	9.4
救 助 人 員		176	152	24	15.8
内 訳	男性	91	79	12	15.2
	女性	85	73	12	16.4
出 動 台 数		1,463	1,370	93	6.8
出 動 人 員		4,685	4,477	208	4.6
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	6	19	▲ 13	▲ 68.4
	交 通	50	42	8	19.0
	水 難	9	8	1	12.5
	自 然 災 害	7	0	7	—
	機 械	4	1	3	300.0
	建 物	148	129	19	14.7
	ガ ス ・ 酸 欠	6	3	3	100.0
	破 裂	0	0	0	—
	そ の 他	54	46	8	17.4

（注）火災による出動件数は、救助活動を行なった件数のみ計上しています。



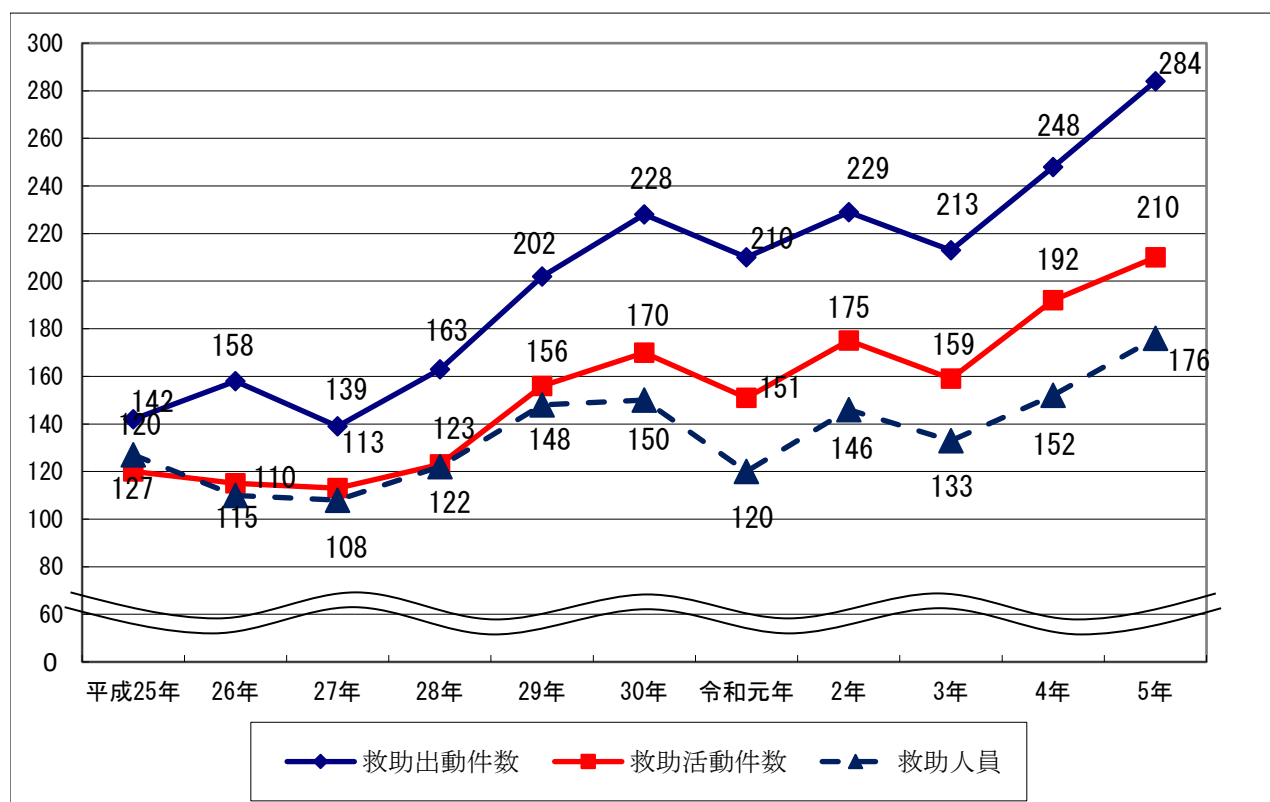
## 2 救助出動等の推移

10年前の平成25年を指数100とした場合、出動件数200、活動件数175、救助人員139となっています。

(▲は減少)

区分 年	救助出動件数			救助活動件数			救助人員		
	件数	指数	対前年 増減率 (%)	件数	指数	対前年 増減率 (%)	人数	指数	対前年 増減率 (%)
平成25年	142	100	—	120	100	—	127	100	—
平成26年	158	111	11.3	115	96	▲ 4.2	110	87	▲ 13.4
平成27年	139	98	▲ 12.0	113	94	▲ 1.7	108	85	▲ 1.8
平成28年	163	115	17.3	123	103	8.8	122	96	13.0
平成29年	202	142	23.9	156	130	26.8	148	117	21.3
平成30年	228	161	12.9	170	142	9.0	150	118	1.4
令和元年	210	148	▲ 7.9	151	126	▲ 11.2	120	94	▲ 20.0
令和2年	229	161	9.0	175	146	15.9	146	115	21.7
令和元年	213	150	▲ 7.0	159	133	▲ 9.1	133	105	▲ 8.9
令和3年	248	175	16.4	192	160	20.8	152	120	14.3
令和5年	284	200	14.5	210	175	9.4	176	139	15.8

(件/人)



### 3 事故種別・署別出動の状況

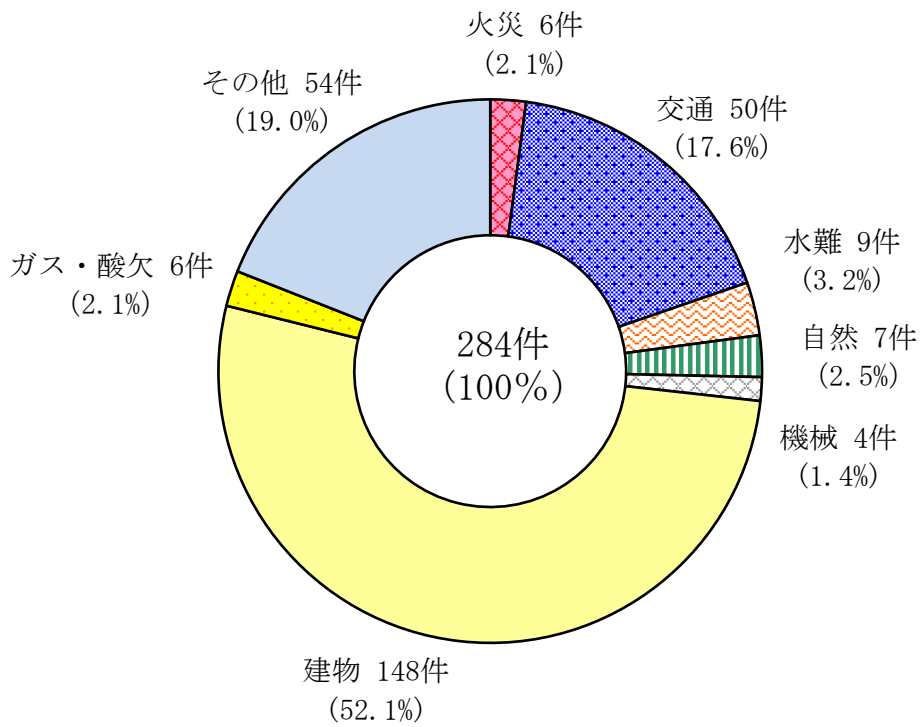
事故種別ごとに救助活動の状況をみると、出動件数で最も多いのは、建物等による事故の148件で、全体の52.1%を占め、次いでその他の事故の54件(19.0%)となっています。

活動件数で最も多いのは、建物等による事故の114件で、全体の54.3%を占め、次いでその他の事故の36件(17.1%)となっています。

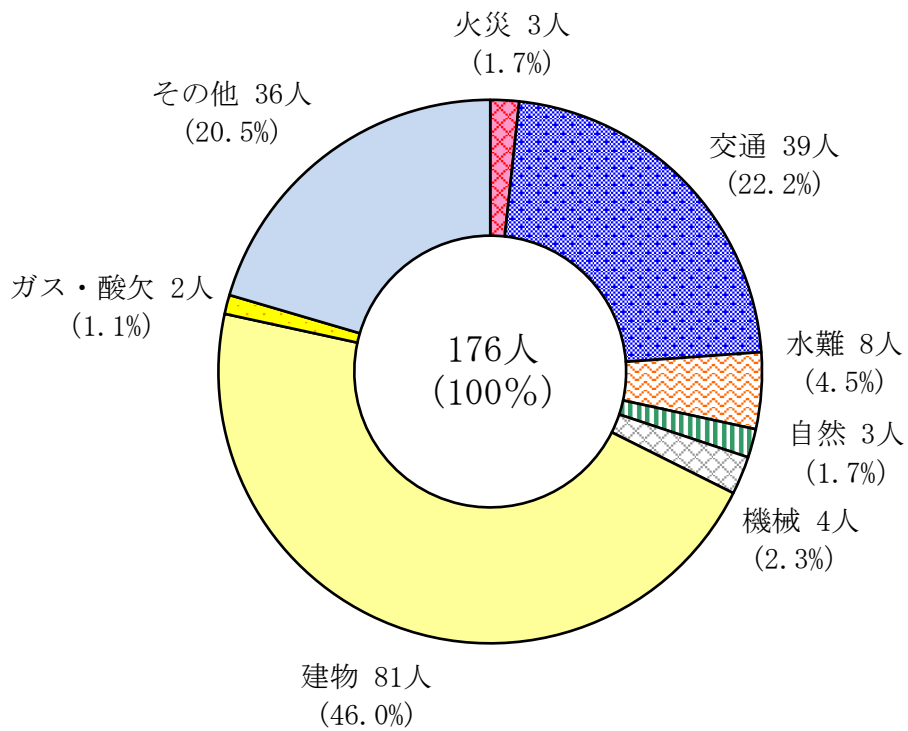
また、救助人員についても、建物等による事故が最も多く81人で、全体の46.0%を占め、次いで交通事故の39人(22.2%)となっています。

事故種別 署別		火	交	水	自	機	建	ガス・酸欠	破	そ	合
		災	通	難	然	械	物		裂	他	計
中央消防署	出動件数	1	17	3	4	3	69	3		21	121
	活動件数	1	10	3	3	3	56	3		16	95
	救助人員	1	11	3	3	3	38			16	75
	出動台数	11	86	20	16	19	350	19		93	614
	出動人員	40	272	68	47	63	1120	56		320	1,986
東消防署	出動件数	2	11	1	2		22	2		15	55
	活動件数	2	7	1			17	1		6	34
	救助人員	1	8	1			14	1		8	33
	出動台数	25	63	7	9		102	12		80	298
	出動人員	90	195	22	26		329	34		257	953
南消防署	出動件数	2	11	3	1	1	38	1		5	62
	活動件数	2	7	3		1	24	1		3	41
	救助人員	1	7	3		1	17	1		3	33
	出動台数	22	57	18	2	6	176	1		26	308
	出動人員	91	175	57	6	17	547	3		80	976
西消防署	出動件数	1	11	2			19			13	46
	活動件数	1	10	1			17			11	40
	救助人員		13	1			12			9	35
	出動台数	9	62	16			96			60	243
	出動人員	34	194	54			298			190	770
合計	出動件数	6	50	9	7	4	148	6	0	54	284
	構成比(%)	2.1	17.6	3.2	2.5	1.4	52.1	2.1	0.0	19.0	100.0
	活動件数	6	34	8	3	4	114	5	0	36	210
	構成比(%)	2.9	16.2	3.8	1.4	1.9	54.3	2.4	0.0	17.1	100.0
	救助人員	3	39	8	3	4	81	2	0	36	176
	構成比(%)	1.7	22.2	4.5	1.7	2.3	46.0	1.1	0.0	20.5	100.0
	出動台数	67	268	61	27	25	724	32	0	259	1,463
出動人員	255	836	201	79	80	2,294	93	0	847	4,685	

### 事故種別出動件数と構成割合



### 事故種別救助人員と構成割合



#### 4 月別救助出動等の状況

月別に出動の状況をみると、10月が最も多く32件で、次いで1月の29件となり、月平均23.7件の出動となっています。

区分 月別	出動件数	活動件数	救助人員	事故種別出動件数									
				火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	
1月	29	22	18		3	3				19	2		2
2月	26	18	16		3					20	1		2
3月	25	13	11		7					10	1		7
4月	25	21	17	2	6	1		1		7			8
5月	23	17	15	1	6			1		10			5
6月	17	11	10		2	2				11			2
7月	27	18	17		5		7			10			5
8月	26	20	15		1					15			10
9月	16	15	15	1	2	1		1		9			2
10月	32	25	20	1	5			1		18			7
11月	18	15	11	1	4	1				9			3
12月	20	15	11		6	1				10	2		1
合計	284	210	176	6	50	9	7	4		148	6	0	54

#### 5 事故種別・傷病程度別救助人員

救助人員を事故種別・傷病程度別でみると、建物等による事故の中等症が27人（15.3%）と最も多く、次いで建物等による事故の軽症の26人（14.8%）、その他の事故の軽傷の17人（9.7%）の順になっています。

区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災		2			1	3
交通		5	5	10	13	39
水難		7	1			8
自然					3	3
機械			1	2	1	4
建物		9	7	27	26	81
ガス・酸欠		1	1			2
破裂						0
その他		2	5	2	17	36
合計		26	20	41	57	176

## 6 発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況を見ると、屋内が171件で、出動件数全体の60.2%を占め、屋外は113件で39.8%となっています。

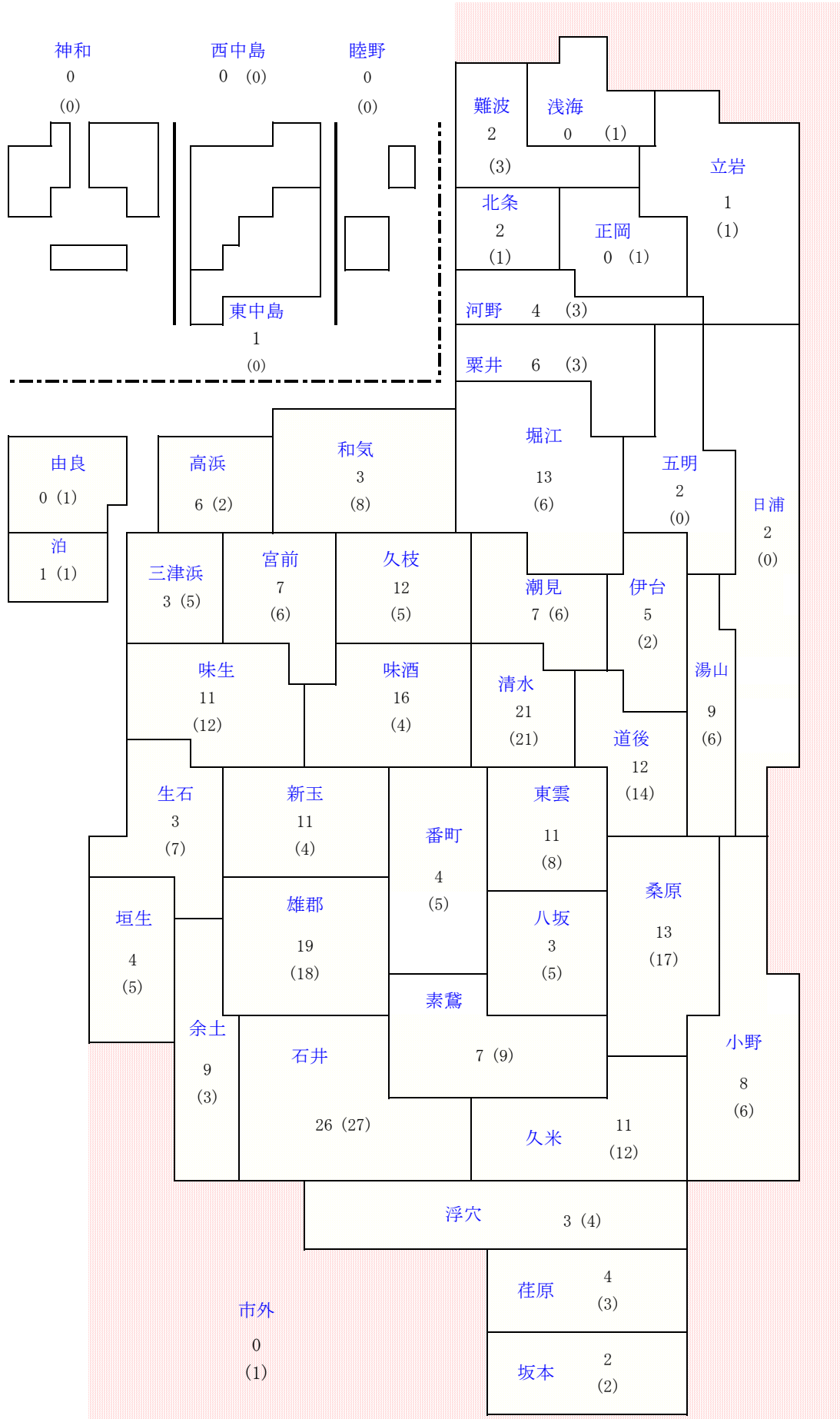
事故種別 発生場所別	火災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	合 計
	建 物	建 物 以 外									
屋 内	6				4	1	145	3		12	171
	3				2	1	79	1		5	91
住 居	6				4		139	3		9	161
	3				2		75	1		3	84
その他の屋内						1	6			3	10
						1	4			2	7
屋 外			50	9	3	3	3	3		42	113
			39	8	1	3	2	1		31	85
高 速 道 路											0
											0
その他の道路			34		3			1		3	41
			27		1			1		3	32
内 水 面			5	6						3	14
			4	6						2	12
外 水 面			1	3						1	5
			1	2						1	4
山 岳										2	2
										4	4
その他の屋外			10			3	3	2		33	51
			7			3	2			21	33
地 下											0
											0
そ の 他											0
											0
合 計	6	0	50	9	7	4	148	6	0	54	284
	3	0	39	8	3	4	81	2	0	36	176

(注)      救助人員数

## 7 地区別救助出動状況

出動件数 284件 (前年 248件)

※ ( ) 内は前年の発生状況



## 令和5年 火災・救急・救助統計

- 火災統計に関するお問合せは  
松山市消防局予防課 火災調査担当  
TEL: (089) 926-9247 FAX: (089) 926-9163  
E-Mail: sbyobou@city.matsuyama.ehime.jp
- 救急統計に関するお問合せは  
松山市消防局救急課 救急管理担当  
TEL: (089) 926-9227 FAX: (089) 926-9187  
E-Mail: sbkyukyu@city.matsuyama.ehime.jp
- 救助統計に関するお問合せは  
松山市消防局警防課 消防・救助担当  
TEL: (089) 926-9220 FAX: (089) 926-9188  
E-Mail: sbkeibou@city.matsuyama.ehime.jp